

事業所名	発達支援ゆず本山ルーム (居宅訪問型児童発達支援)				支援プログラム	作成日	2025年	2月	17日
法人(事業所)理念	発達支援ゆずは、「子どもの主体性を大切にし、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す」ことを理念とし、個別療育を通じて子どもたちの成長を支援します。子どもが自分らしく安心して過ごせる環境を整え、発達のペースに寄り添いながら、一歩ずつできることを増やしていくことを目指します。また、保護者と共に子どもの育ちを支え、家庭での関わりも含めた総合的なサポートを大切にします。地域社会とのつながりも意識しながら、子どもが将来に向けて自信を持って成長できるよう支援していきます。								
支援方針	<p>可能性を引き出し、家族とともにその成長を支えるため、以下の方針に基づいて支援を行います。</p> <p>■安心できる環境での支援：子どもが最も安心して過ごせる「自宅」で支援を行うことで、不安や緊張を和らげ、自然な発達を促します。</p> <p>■個性性を尊重した支援：子どもの特性、生活環境、家族の意向に寄り添い、完全オーダーメイドの支援内容を計画・実施します。</p> <p>■家族との協働：家庭での関わりや生活スタイルを尊重しながら、保護者と共に子どもの成長を支援します。家庭で継続可能な支援方法を共有し、保護者の不安や負担の軽減にも努めます。</p> <p>■生活に根ざした発達支援：食事、着替え、遊びなど日常の活動を通じて、生活能力・社会性・コミュニケーション能力の向上を図ります。</p> <p>■関係機関との連携：医療・教育・福祉等の関係機関と連携を図り、継続的で統一感のある支援体制を構築します。</p>								
営業時間	9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	子どもが安心して日々の生活を送れるよう、自宅での生活リズムを整え、基本的な生活習慣の自立を支援します。食事・排泄・睡眠・清潔保持など、家庭の中で行われる生活活動に寄り添いながら、一人ひとりの発達段階や障害特性に応じて無理のない支援を行います。また、必要に応じて、医療的ケアに関する関係機関との連携も図り、健康面での安心と安定をサポートします。保護者の介助に対する不安や困りごとにも耳を傾け、日々の生活に即した実践的な助言を提供します。							
	運動・感覚	子どもの身体発達や感覚の偏りに配慮しながら、自宅という安心できる空間で、発達段階に応じた運動や感覚刺激の活動を提供します。姿勢保持やバランスの練習、関節可動域の維持、手指の巧緻動作など、日常生活に必要な身体機能の向上を目指します。また、過敏・鈍麻などの感覚の特性に応じて、触覚・前庭感覚・固有感覚への適切なアプローチを行い、感覚の統合や情緒の安定を支援します。活動は無理なく楽しく行えるよう工夫し、子どもが「心地よい」と感じられる関わりを大切にします。							
	認知・行動	子どもの興味や理解度に応じた活動を通して、認知機能や行動のコントロール力を育む支援を行います。自宅の環境を活かし、身近な物や生活場面を用いて、注意・記憶・理解・選択といった基本的な認知スキルの発達を促します。また、行動の見通しを持てるようにスケジュールの視覚化や構造化を工夫し、不安を軽減しながら安定した行動が取れるよう支援します。こだわりや感情の起伏に配慮しながら、安心して「できた」を積み重ねられる関わりを大切にします。							
	言語 コミュニケーション	子どもの発達段階や特性に応じて、言葉による表現力や相手とのやり取りを育む支援を行います。発声・発語の促し、語彙の拡充、理解力の支援に加え、絵カードや身振りなどの代替的なコミュニケーション手段も取り入れ、子どもが「伝えられた」「わかってもらった」と感じられる経験を重ねていきます。自宅という落ち着いた環境の中で、家族との自然な関わりを活かしながら、日常生活の中でのやり取りの場面を通じて、実践的なコミュニケーション力の向上を図ります。							
	人間関係 社会性	自宅という安心できる環境の中で、子どもが身近な大人や家族との関わりを通じて、人との関係づくりの基本を学べるよう支援します。あいさつ、視線を合わせる、相手の気持ちを感じ取るなどの社会的行動を、一人ひとりのペースに合わせて丁寧に促します。また、言葉以外の表現(表情、ジェスチャー、音声)にも着目し、自然な関わりの中で社会性を育むことを目指します。必要に応じて模擬的なやり取りやごっこ遊びを取り入れ、今後の集団参加や地域生活に向けた準備を支援します。							
家族支援	居宅訪問型支援では、ご家庭の生活の場に直接関わる特性を活かし、保護者の方と日々の関わりの中で密にコミュニケーションを取りながら支援を進めます。子どもの行動や特性について共に理解を深め、家庭で実践しやすい関わり方や声かけの工夫など、具体的な助言を行います。また、保護者の不安や悩みに寄り添い、安心して子育てができるよう心理的なサポートも重視します。必要に応じて医療・福祉・教育等の関係機関との連携を図り、家庭全体が無理なく支援を継続できる体制づくりを目指します。	移行支援	子どもが次の生活の場(保育所、幼稚園、小学校等)に安心して移行できるよう、発達段階や特性に応じた準備を支援します。家庭での様子や支援内容を基に、移行先で求められる生活スキルや社会性の土台づくりを自宅で支援するとともに、保護者と連携して見通しを持った準備を進めます。必要に応じて関係機関や受け入れ先と情報を共有し、支援の継続性を確保できるよう働きかけます。本人・保護者双方にとって安心できるステップとなるよう、丁寧な支援を行います。						
地域支援・地域連携	必要に応じて、医療機関や保育所・学校、相談支援事業所など地域の関係機関と連携し、支援の継続性を確保します。家庭での様子や支援の工夫を共有することで、子どもに合った支援環境づくりをサポートします。また、保護者が地域の支援資源を活用できるよう、情報提供や橋渡しも行います。子どもと家族が地域の中で安心して生活できるよう、支援していきます。				職員の質の向上	安心で専門性の高い支援を提供できるよう、職員の継続的なスキルアップに努めています。定期的な内部研修や事例検討を行い、支援の質の向上を図るとともに、外部研修や専門機関の研修にも参加し、最新の知見や技術を取り入れています。また、職員間で日々の支援内容や課題を共有し、連携を深めながら、より良い支援を実践できるよう取り組んでいます。			
主な行事等	居宅訪問型の個別支援においては、通所型のような合同行事は行っていませんが、季節ごとの行事(節分・七夕・クリスマスなど)に関連した遊びや制作活動を、訪問支援の中で取り入れています。子どもが自宅にいながら季節や社会の行事を感じられるよう工夫し、文化的な体験や日常生活とのつながりを育む機会としています。行事は子どもの興味や発達段階に応じて無理なく取り入れ、楽しみながら関わることを大切にしています。								